資料４

５．水防に関する情報共有

（１）平成 29 年の洪水発生状況　．．．．．．．．．．．．．．．．．．．Ｐ 1

（２）出水時における市町村長への緊急連絡体制（ホットライン）．Ｐ 3

（３）水防資機材の保有状況　．．．．．．．．．．．．．．．．．．．Ｐ 5

（４）危機管理型水位計の整備　．．．．．．．．．．．．．．．．．．Ｐ 9

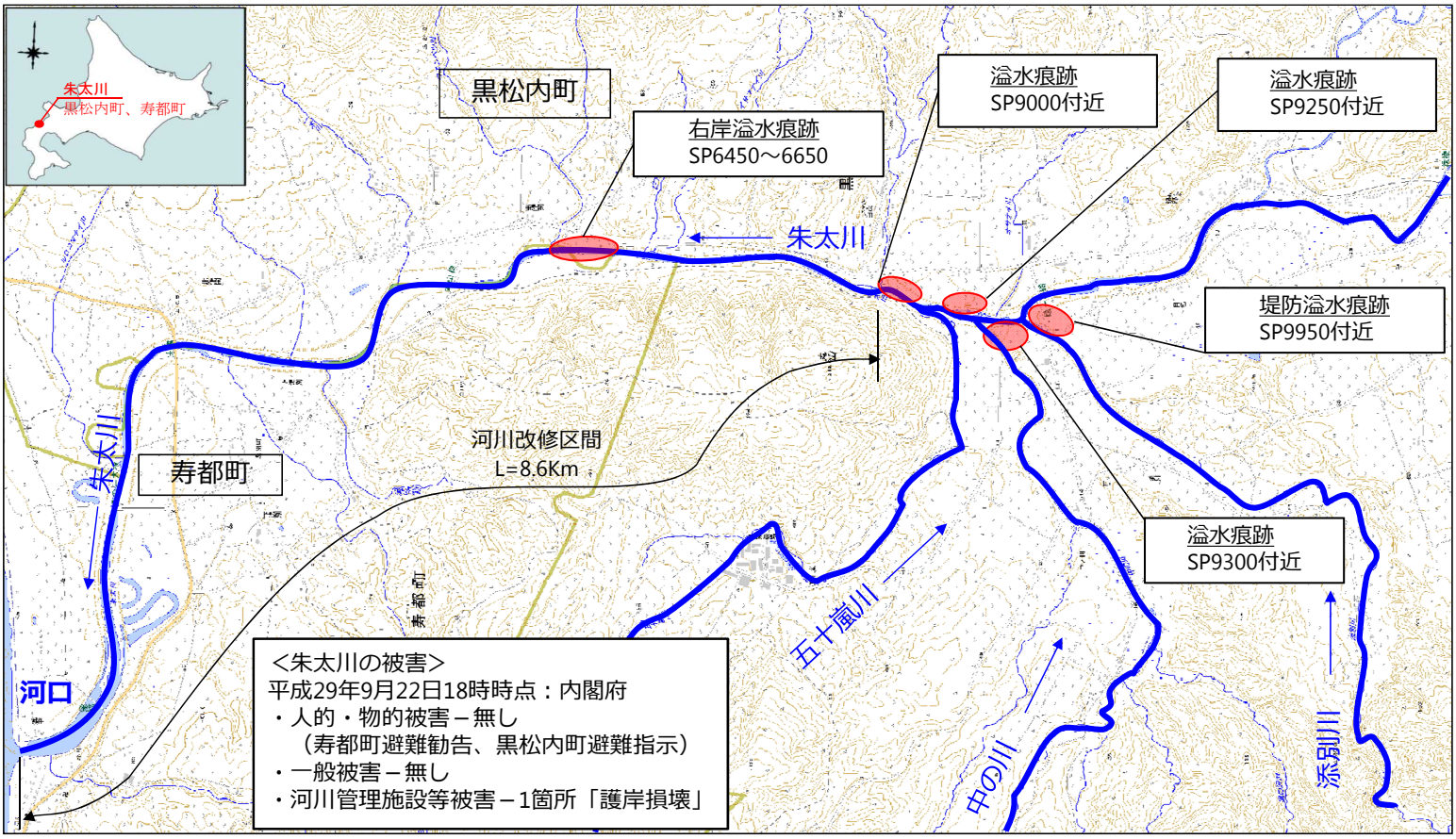
（５）浸水想定区域図の公表状況　．．．．．．．．．．．．．．．．．P13

（６）タイムラインの作成　．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．P15

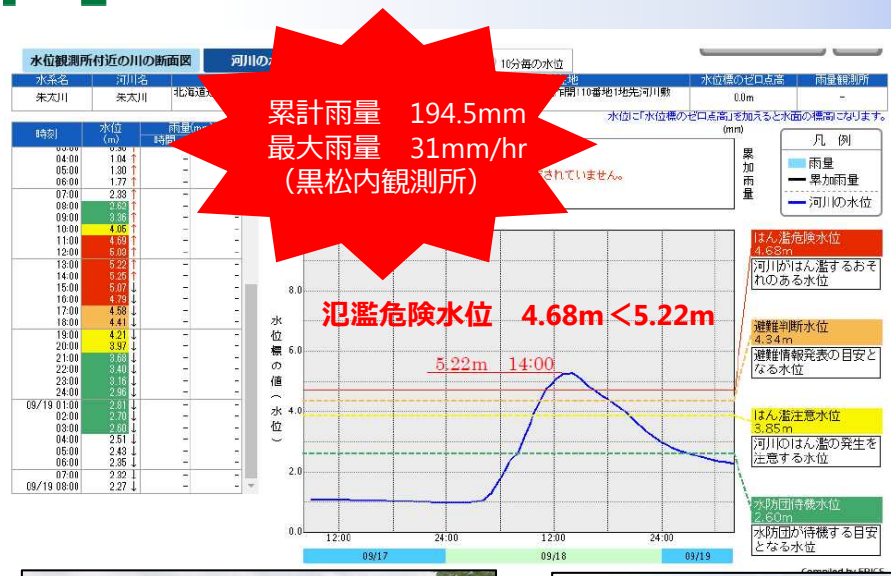
（７）北海道地区水防技術講習会の実施　．．．．．．．．．．．．．P19

流下能力を上回る洪水による被害状況

■平成29年9月18日の台風18号で朱太川では、約５箇所での溢水等が確認された。



流下能力を上回る洪水による被害状況



SP9000付近　堤防溢水痕跡

SP9950付近　堤防溢水痕跡

SP6450～6650　堤防溢水痕跡

■ホットライン導入の経緯

◆平成16年の災害：過去最大の10個の台風が日本に上陸し、各地で浸水被害が発生
＜災害の特徴と課題＞
〇これまでの記録を超える降雨量を各地で観測。
→自然の外力は施設能力を超える可能性が常にあることを踏まえた備えが必要
〇避難勧告の発令等の遅れ、発令されても避難しない住民が多数。
→住民や自治体の災害経験が減少し、危機意識も低下している現代社会においても、
災害時に的確な認識や行動がなされるような仕組みが必要

◆平成17年4月 「総合的な豪雨災害対策の推進について（提言）」
（社会資本整備審議会河川分科会豪雨災害対策総合政策委員会）
Ⅲ 具体的施策
3 的確な判断・行動を実現するための防災情報の提供の充実
（1）緊急時の防災情報を送り手情報から受け手情報への転換
③市町村等への支援体制の確立
避難勧告等の発令にあたり緊急時に市町村長が行う状況判断に役立つよう、各種情報についての解説、今後の見通し等を河川管理者等から直接市町村長に助言する仕組みを構築する。

◆平成17年4月 国管理河川において「ホットライン」（河川事務所長から市町村長へ、直接河川の状況を伝達）開始（一般化）

◆平成21年4月 出水期前に情報提供しておくこと、出水時のホットラインによって情報提供することを整理（事務連絡「平常時における関係市町村等との防災情報共有について）

引用：中小河川におけるホットライン活用ガイドライン(H29.2)より

■ホットラインにより伝達する項目（例）

河川管理者	市町村長
■指定河川洪水予報 ※水防法第13条4項に基づく伝達	■避難勧告等発令判断のための助言 ※災対法第61条の2
■現在の水位状況 ・避難判断水位超過 ・氾濫危険水位超過	■避難勧告、指示の発令状況
■水位変化と今後の見込み ・氾濫危険水位を超える恐れ ・越水する恐れ	■住民避難に関する情報
■想定危険箇所と想定被害 ・氾濫した場合の想定浸水区域	■被害状況
■類似した過去の洪水	
■上下流の状況（水防活動など） ・被災状況 ・水防活動状況 ・排水ポンプ車の運転状況	

災害対策基本法
（指定行政機関の長等による助言）
第六十一条の二 市町村長は、第六十条第一項の規定により避難のための立退きを勧告し、若しくは指示し、又は同条第三項の規定により屋内での待避等の安全確保措置を指示しようとする場合において、必要があると認めるときは、指定行政機関の長若しくは指定地方行政機関の長又は都道府県知事に対し、当該勧告又は指示に関する事項について、助言を求めることができる。

■尻別川（直轄管理区間）における蘭越町とのホットライン

■尻別川流域（直轄管理）における関係市町村ホットライン配備表（順位）

蘭越町
TEL:0136-57-5111 FAX:0136-57-5112
①総務課長
【防災携帯】080-XXXX-XXXX
【個人携帯】090-XXXX-XXXX
②企画防災対策室長
【防災携帯】080-XXXX-XXXX
【個人携帯】090-XXXX-XXXX
③まちづくり推進係長
【防災携帯】080-XXXX-XXXX
【個人携帯】090-XXXX-XXXX

■小樽開発建設部ホットライン配備表（順位）

小樽開発建設部	
工務課	倶知安開発事務所 蘭越分庁舎
TEL:0134-23-5195 FAX:0134-23-5236	TEL:0136-57-5331 FAX:0136-57-6139
①工務課長 【防災携帯】090-XXXX-XXXX	①副所長 【防災携帯】090-XXXX-XXXX
②工務課長補佐（河川） 【防災携帯】090-XXXX-XXXX	②河川課長 【防災携帯】090-XXXX-XXXX
③上席工務専門官（河川） 【防災携帯】090-XXXX-XXXX	③流域計画官 【防災携帯】090-XXXX-XXXX

※蘭越町の窓口が町長の場合は
①所長090-XXXX-XXXX
②副所長
③河川課長

■ホットラインの実施事例（平成28年8月　網走開建の例）

6. ホットラインによる情報提供【常呂川】円滑に避難勧告を発令

国土交通省

○ 自治体、北海道、国からなる「常呂川減災対策協議会」で検討された減災に関する取組方針に基づき、タイムラインや河川事務所長から自治体首長へのホットラインを実践しました。

○ 台風第7号から断続的に降雨が続いており、今後の降雨により急激な水位上昇が予想されたことから、ホットラインにより北見河川事務所と密に連携を図りつつ、北見市が対象地域へ通常より前倒しして避難勧告を発令。
北見市が消防とも連携の上、住民への避難の呼びかけを実施しました。

被災状況

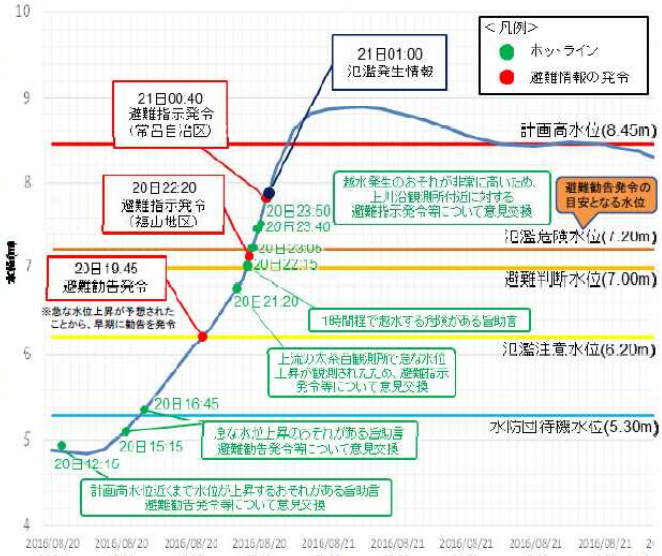
8月20日からの台風に伴い、常呂川では下流の北見市常呂自治区（福山・日吉地区）にて4箇所の越水が発生するなどにより、約215haの浸水被害が発生。

※これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

＜避難状況＞
避難勧告　20日19:45　越水による浸水地区（福山・日吉）を含む常呂自治区（1,302世帯、2,893人）
避難指示　20日22:20　福山地区（17世帯56人）に発令
　　21日00:40　福山地区・日吉地区を含む常呂自治区（1,302世帯、2,893人）に発令
氾濫発生情報の発表は21日01:00　避難所へは最大484人が避難

北見河川事務所から北見市へのホットライン

上川沿観測所における水位とホットライン・避難情報発令のタイミング



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。

■水防資材の備蓄状況

本協議会の国、北海道、各自治体における備蓄状況を共有します。

水防資材調書

平成30年6月現在

機関名	地区名	保管場所	水防資材															備考
			根固めブロック（個）	麻袋（袋）	縄（丸）	シート（枚）	ロープ（200m/巻）	鉄線（kg）	丸太（本）	木杭（本）	スコップ（丁）	ツルハシ（丁）	掛矢（丁）	クリッパー（丁）	投光器（器）	合成繊維製シート（ロール）	鋼杭（本）	
小樽開発建設部	蘭越 名駒 大曲	水防拠点 大曲、名駒 水防資材庫	2～3t級混 418個 3t級 376個	4,774		36	100m/巻 （200m/巻） 15 （10）	105	83	13	66	6	11	2		1	麻袋用ピン 1.0m～1.7m 220	PP袋 11,000
小樽建設管理部	蘭越	蘭越出張所				15	100m/巻 4				6	2	11				φ25mm L1.2m/本 15 φ16mm L1.3m/本 50	PP袋 1,500
蘭　越　町	蘭越	蘭越倉庫		1,400		27	100m/巻 3				18	4	8	3			φ16mm L1.3m/本 184 φ34mm L1.4m/本 61	PP袋 1,400
〃	名駒 三和	名駒倉庫		500							25	5						〃 500
〃	御成 港	港倉庫		500							20	5						〃 500
〃	昆布	昆布倉庫		500							22	3						〃 500
〃	目名 田下	目名倉庫		400							15	5						〃 400

水防資材調書

平成30年6月現在

機関名	地区名	保管場所	水防資材															備考
			根固めブロック（個）	麻袋（袋）	縄（丸）	シート（枚）	ロープ（200m/巻）	鉄線（kg）	丸太（本）	木杭（本）	スコップ（丁）	ツルハシ（丁）	掛矢（丁）	クリッパー（丁）	投光器（器）	合成繊維製シート（ロール）	鋼杭（本）	
ニ セ コ 町		庁舎倉庫													5			
真　狩　村		防災倉庫 及び 役場車庫		200							15		2		4			
留 寿 都 村	留寿都	災害備品格納庫				10	100m/巻 20				38	25			7			
喜 茂 別 町	緑町	防災備蓄庫		1,200		25			12	20	10				24			
京　極　町		消防				10					40		5	2			120	
〃		備蓄倉庫				10												
倶 知 安 町	町内	北4条倉庫							100		80	10	3					PP袋 300

■建設機械の配備状況

本協議会の国、北海道、各自治体における配備状況を共有します。

建　設　機　械　調　書

平成30年6月現在

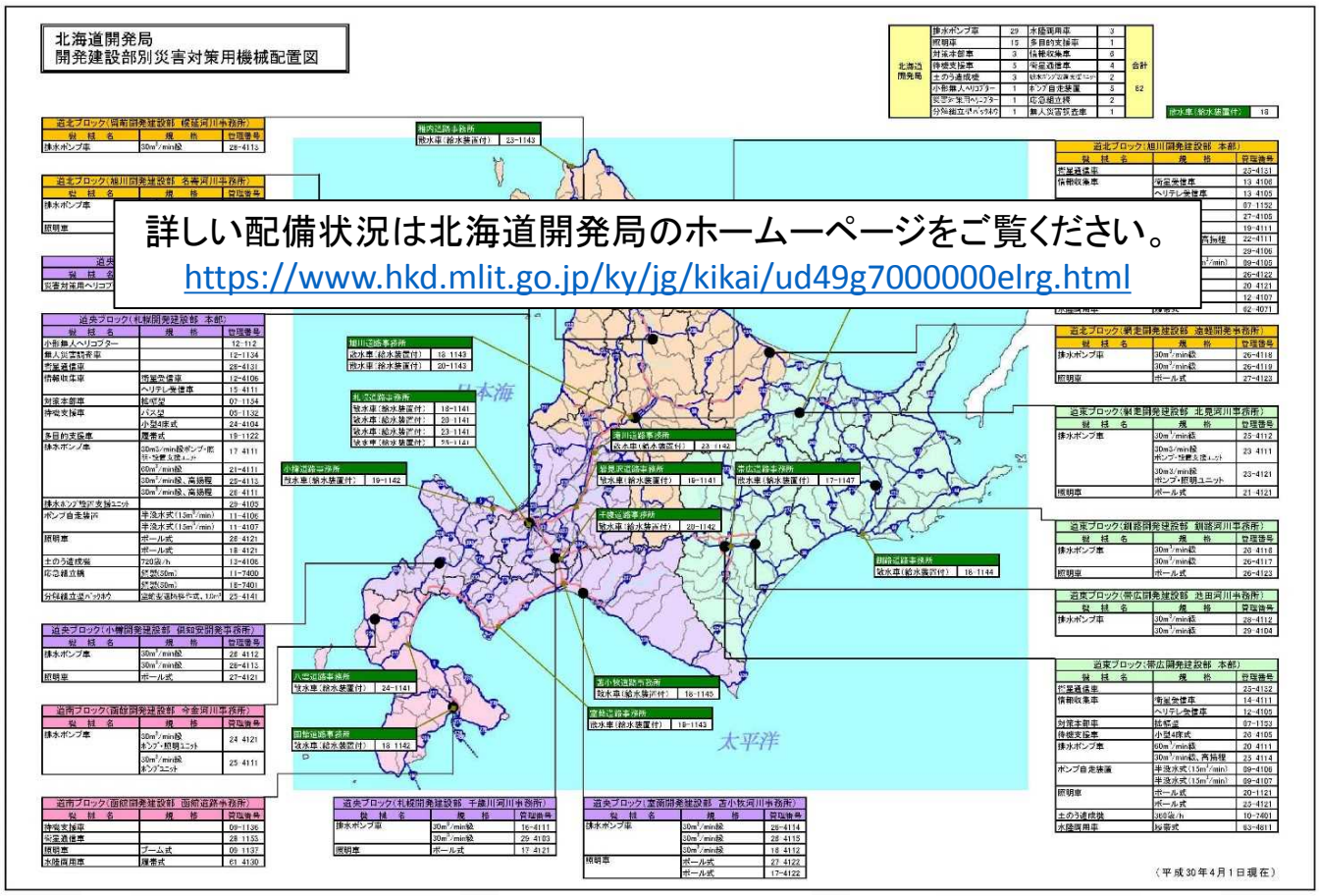
機関名	連絡先	作業員数	建設機械等の機種										備考
			パトロールカー	連絡車	ブルドーザー	油圧ショベル	トラクターショベル	トラック	ダンプトラック	トレーラー	ショベルドーザ	モーターグレーダー	
小樽開発建設部 倶知安開発事務所 蘭越分庁舎	0136 57－5331		無線車～ 1	無線車～ 2									
蘭越町	0136 57－5111			1	15t 1	1	2	1	3			3.7m 1	
石田産業㈱	0136 57－5126	6	1	1		0.7㎥ 1 0.2㎥ 1	1.2㎥ 1	4t 1		1			PPT土のう 200 シート10
佐藤建設㈱	0136 57－5119	10	3	6		0.45㎥ 1	2.3㎥ 1 0.5㎥ 1	1t 1 2t 1 7t 1	4t 1				大型麻袋100、麻袋800 杭100、シート100
㈱菅原組	0136 58－2207	10		3		0.45㎥ 2 0.2㎥ 2	3.0㎥ 1 2.0㎥ 1 1.3㎥ 2	4t 1	4t 1				オイルフエンス20m×2
㈱増田建設	0136 57－5658	7		2		0.2㎥ 1	1.0㎥ 1	2t 1 4t 1	4t 1				麻袋30 シート30
㈱福島建設	0136 57－6455	7	3	無線車～ 4		0.40㎥ 1 0.45㎥ 1	1.2㎥ 1	4t 1	2t 2				オイルフエンス20m×2 大型麻袋10、 杭5、シート100
（株）日野	0136 57－5065	6		2	2t 1	0.45㎥ 2 0.2㎥ 1	1.3㎥ 1 0.9㎥ 1	1t 1	4t 2				麻袋 300 シート 50

建　設　機　械　調　書

平成30年6月現在

機関名	連絡先	作業員数	建設機械等の機種										備考
			パトロールカー	連絡車	ブルドーザー	油圧ショベル	トラクターショベル	トラック	ダンプトラック	トレーラー	ショベルドーザ	モーターグレーダー	
ニセコ町	0136 44-2121												なし
真狩村	0136 45-2121	2		1				1	1		3		
留寿都村	0136 46-3131	2	1		1			1	1		2		オイルフエンス5m×2 オイル吸着材BL-50 1箱 40m
喜茂別町	建設課土木係 0136 33-2211	4			1			軽トラ 2			2		
京極町	総務課 0136 42-2111	5	1	1			2		2			1	
倶知安町	0136 56－8000		1	1			1	1	1				

■災害対策用機械の配備状況



排水ポンプ車

洪水災害時の排水作業を行う機械です。ポンプ・発動発電機・照明装置・その他用具一式を搭載しているので、ポンプの設置から排水までの作業を1台で行うことが出来ます。排水能力60㎥/分

照明車

四輪駆動のベース車両に、発動発電機・照明装置・電源供給ケーブル等を搭載し、高さ約１０ｍからの照明により夜間の復旧作業を支援します。

衛星通信車

災害が発生した場合に、現地での通信確保及び情報収集を行うことを目的として、衛星通信設備を搭載し、日本国内のほぼ全域での画像や音声の通信を確保することが可能です。

水陸両用車

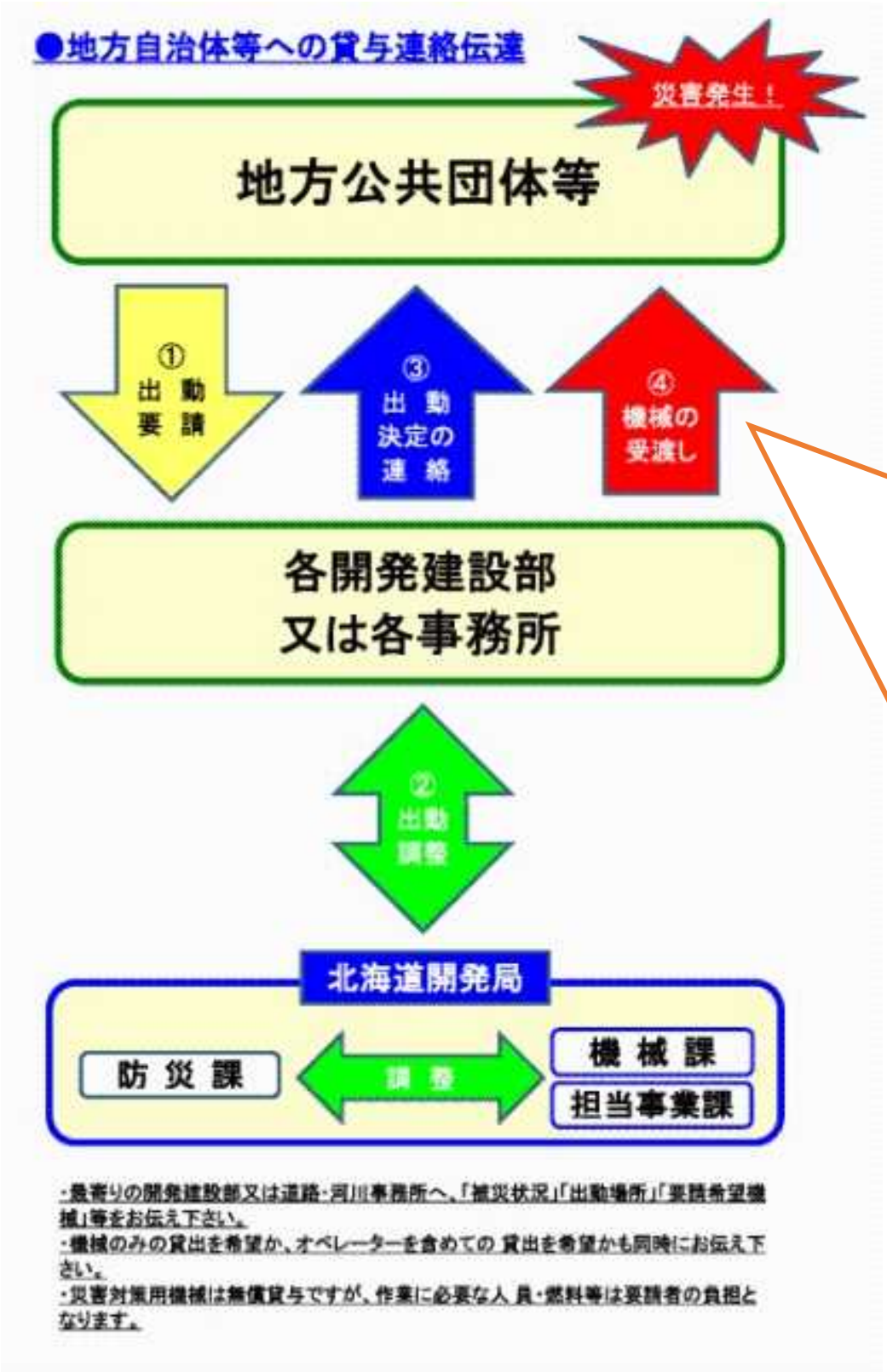
ゴム製履帯を備え、一般車両では走行が困難な岩山、沼地、冠水路、雪上などの場所や過酷な気象条件のもとでも走行が可能であり、災害時における救助活動・情報連絡・人員や復旧機材の輸送、あるいは測量調査等多目的の使用ができます。積載量1,000kg

散水車(給水装置付)

路面や歩道の塵埃を圧力散水で洗い流し、道路環境を保持するための機械です。この機械に給水装置を搭載することにより、給水活動にも利用できる構造となっているほか、各種施設の給水タンクなどに水を圧送する機能も備えています。容量6,300ℓ

待機支援車

災害復旧に携わる人々の休憩場所、長期にわたる作業や救援活動の簡易宿泊施設、また指揮室等として、後方支援的な役割を果たすことのできる設備です。



現地での運転にかかる労務費や燃料費は、
出動要請者の負担になります。

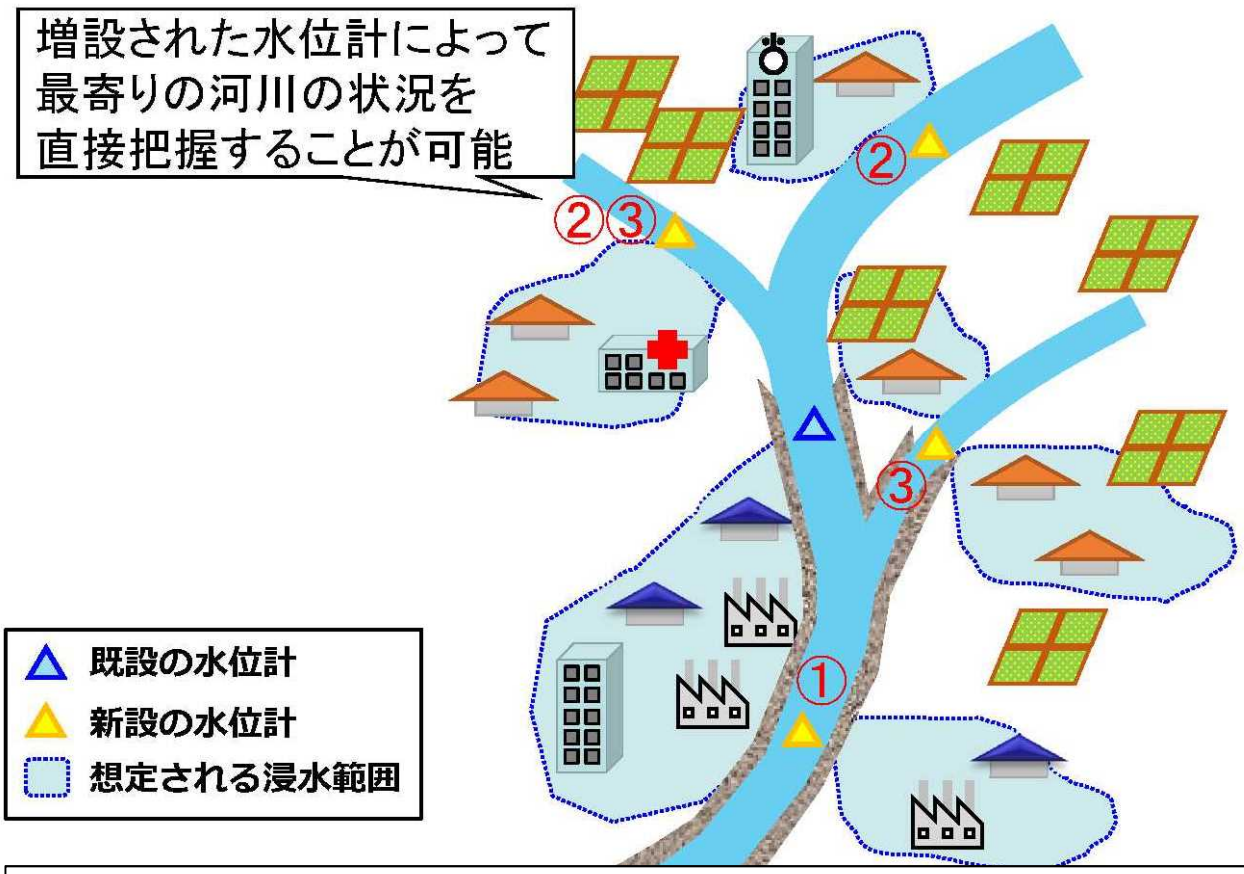
要請があれば、流域外でも、出動可能です。
待機台数以上の要請があった場合、管外から
出動する場合もあります。

ただし、機器の待機状況により出動できない場合があります。

■危機管理型水位計の整備について

尻別川水系では、危険箇所として設定した地点の水位を観測することで「氾濫の危険度がどの程度切迫しているのか」を直接的に把握することを目的とした危機管理型水位計（簡易水位計）を平成３０年度中に設置する予定です。
これにより、これまで各水位観測所の水位データから河川状況を予想していたものが、より近くの危機管理型水位計データを入手することできるようになります。

【水位観測方法】
・低コスト型の水位計を各危険箇所に簡易な方法で設置。
・電力供給はソーラーパネルによる発電。
・10分以内毎に水位データを観測し、クラウドサーバへ送信（パケット通信）。
・水位データは、パソコンなどで閲覧可能。



※設置箇所は、以下の①～③を対象に、既設水位計の配置や現地の状況を踏まえて選定。
①「堤防高さや川幅などから、相対的に氾濫しやすい箇所」
②「氾濫により行政施設・病院等の重要施設が浸水する可能性が高い箇所」
③「支川合流部など、既設水位計だけでは実際の水位が捉えにくい箇所」

既設水位計

簡易水位計

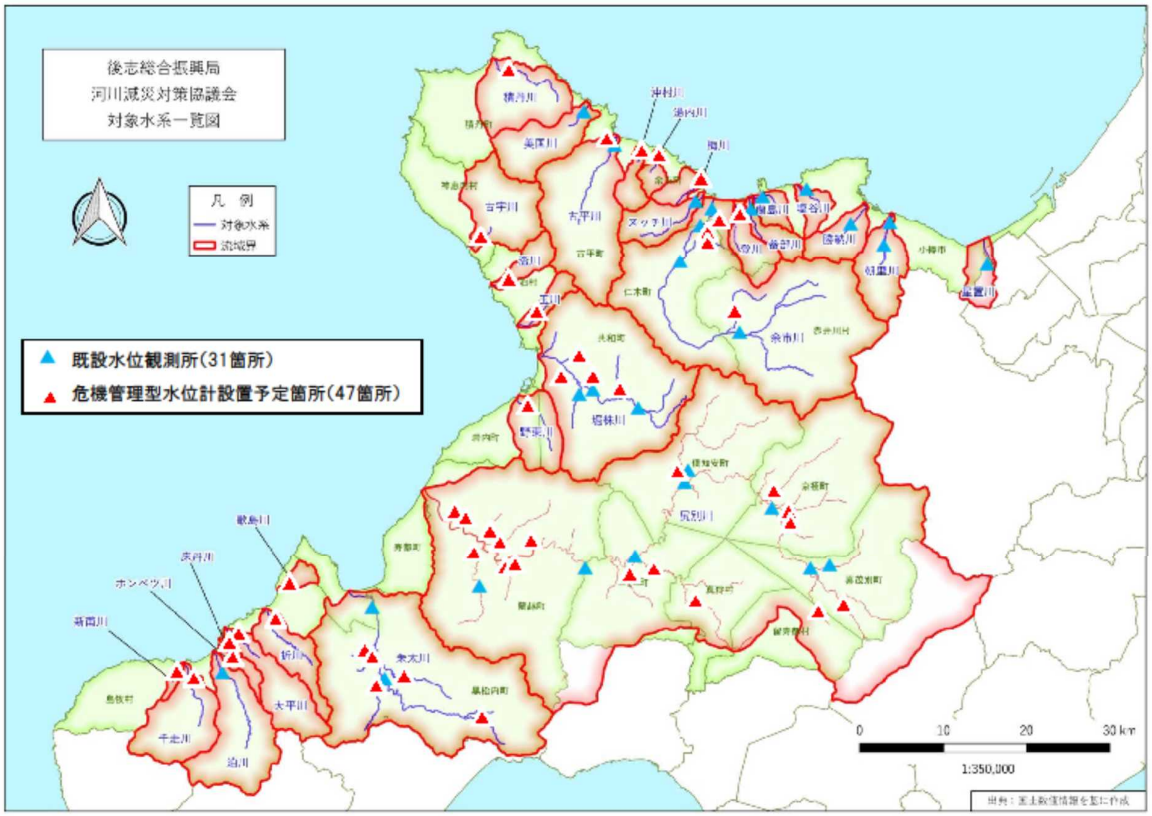
① 堤防に設置するタイプ
　計測器を河川に入れて計測（接触式）

② 橋梁等に設置するタイプ
　電波や超音波で河川に触れずに計測（非接触式）

注：実際に設置する機器は写真と異なる場合があります。

北海道

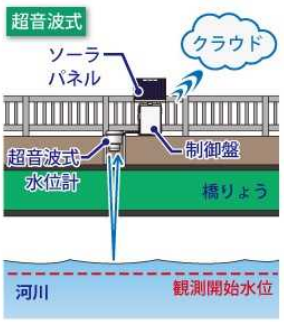
概ね５年で実施する取組
～大規模水害に備えた迅速かつ確実な避難行動のための取り組み

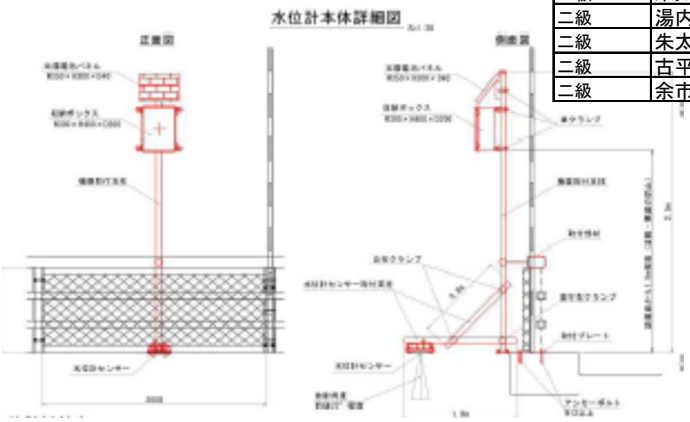


北海道

概ね５年で実施する取組
～大規模水害に備えた迅速かつ確実な避難行動のための取り組み

○危機管理型水位計配置計画を検討・調整し、順次整備を実施する。





平成30年度　予定

一級	尻別川	真狩川
二級	古宇川	古宇川
二級	野束川	野束川
二級	玉川	玉川
二級	大平川	大平川
二級	堀株川	ソコナイ川
二級	余市川	後志種川
二級	余市川	赤井川
二級	朱太川	熱郛川
二級	堀株川	リヤムナイ川
二級	登川	登川
二級	梅川	梅川
二級	朱太川	黒松内川
二級	湯内川	湯内川
二級	朱太川	中の川
二級	古平川	古平冷水川
二級	余市川	余市中の川

平成31年度　予定

一級	尻別川	真狩川
一級	尻別川	オロッコ川
一級	尻別川	硫黄川
一級	尻別川	登延頃川
一級	尻別川	茅部川
一級	尻別川	ペーペナイ川
一級	尻別川	ペンケ目国内川
一級	尻別川	オロウエンシリベツ川
一級	尻別川	逆川
一級	尻別川	志根津川
一級	尻別川	カシプニ川
一級	尻別川	パンケ目国内川
一級	尻別川	オサンナイ川
一級	尻別川	小南部川
一級	尻別川	ツバメノ沢川
一級	尻別川	ルベシベ川
二級	千走川	千走川
二級	積丹川	積丹川
二級	堀株川	辰五郎川
二級	新甫川	新甫川
二級	折川	折川
二級	余市川	フレトイ川
二級	朱太川	添別川
二級	朱太川	後志来馬川
二級	堀株川	泥川
二級	盃川	盃川
二級	沖村川	沖村川
二級	ホンベツ川	ホンベツ川
二級	床丹川	床丹川
二級	歌島川	歌島川

北海道

概ね５年で実施する取組
～大規模水害に備えた迅速かつ確実な避難行動のための取り組み

○想定し得る最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域及び洪水氾濫危険区域図の公表　【平成３０年度：後志総合振興局】

洪水浸水想定区域図

１級水系
北海道の尻別川、倶登山川、喜茂別川については、７月中には指定・公表する予定です。
２級水系
平成30年3月6日に星置川、美国川、掘株川を、平成30年3月27日に余市川、古平川、朱太川について 指定・公表しています。建管ホームページへアップしています。

洪水氾濫危険区域図

１級水系
硫黄川外４河川作成済み。平成30年度は志根津川外28河川作成予定です。
２級水系
勝納川外23河川作成済み。平成30年度は赤井川外22河川作成予定です。

北海道

概ね５年で実施する取組
～大規模水害に備えた迅速かつ確実な避難行動のための取り組み

洪水氾濫危険図　作成年次

平成29年度　実施済み

	水系名	河川名	市町村
１級	尻別川	硫黄川	倶知安町
１級	尻別川	ｿｰｽｹ川	倶知安町
１級	尻別川	ﾎﾟﾝｸﾄｻﾝ川	倶知安町
１級	尻別川	ﾇｯﾌﾟﾘ寒別川	倶知安町
１級	尻別川	ｶﾞﾙ川	京極町
２級	勝納川	勝納川	小樽市
２級	朝里川	朝里川	小樽市
２級	登川	登川	余市町
２級	野束川	野束川	岩内町･共和町
２級	蘭島川	蘭島川	小樽市
２級	塩谷川	塩谷川	小樽市
２級	積丹川	積丹川	積丹町
２級	沖村川	沖村川	古平町
２級	湯内川	湯内川	余市町
２級	梅川	梅川	余市町
２級	ﾇｯﾁ川	ﾇｯﾁ川	余市町
２級	畚部川	畚部川	余市町
２級	朱太川	黒松内川	黒松内町
２級	玉川	玉川	泊村
２級	盃川	盃川	泊村
２級	古宇川	古宇川	神恵内村
２級	新甫川	新甫川	島牧村
２級	千走川	千走川	島牧村
２級	泊川	泊川	島牧村
２級	ﾎﾝﾍﾞﾂ川	ﾎﾝﾍﾞﾂ川	島牧村
２級	床丹川	床丹川	島牧村
２級	折川	折川	島牧村
２級	歌島川	歌島川	島牧村
２級	大平川	大平川	島牧村

平成30年度　実施予定

	水系名	河川名	市町村
１級	尻別川	ｵﾛｳｴﾝｼﾘﾍﾞﾂ川	喜茂別町
１級	尻別川	ｿｰｹﾝｵﾏﾍﾞﾂ川	喜茂別町
１級	尻別川	砂利川	倶知安町
１級	尻別川	ﾍﾟｰﾍﾟﾅｲ川	京極町
１級	尻別川	美比内川	京極町
１級	尻別川	紅葉川	京極町
１級	尻別川	中岳川	京極町
１級	尻別川	ﾜｯｶﾀｻｯﾌﾟ川	京極町
１級	尻別川	ﾄﾄﾞ川	京極町
１級	尻別川	白井川	京極町
１級	尻別川	ｵﾛｯｺ川	京極町
１級	尻別川	ｶﾝﾌﾟﾆ川	京極町
１級	尻別川	真狩川	ﾆｾｺ町･真狩村
１級	尻別川	知来別川	真狩村
１級	尻別川	ｱｶﾊﾗ川	真狩村
１級	尻別川	ﾆｾｺｱﾝﾍﾞﾂ川	ﾆｾｺ町
１級	尻別川	名無川	ﾆｾｺ町
１級	尻別川	ﾙﾍﾞｼﾍﾞﾉ川	ﾆｾｺ町
１級	尻別川	志根津川	蘭越町
１級	尻別川	ｵｻﾝﾅｲ川	蘭越町
１級	尻別川	ﾊﾞﾝｹ目国内川	蘭越町
１級	尻別川	ﾍﾞﾝｹ目国内川	蘭越町
１級	尻別川	目名川	蘭越町
１級	尻別川	ﾂﾊﾞﾒﾉ沢川	蘭越町
１級	尻別川	逆川	蘭越町
１級	尻別川	茅部川	蘭越町
１級	尻別川	小南部川	蘭越町
１級	尻別川	南部川	蘭越町
１級	尻別川	昆布川	蘭越町

	水系名	河川名	市町村
２級	余市川	赤井川	赤井川村
２級	余市川	白井川	赤井川村
２級	余市川	小樽川	赤井川村
２級	星置川	ｷﾗｲﾁ川	小樽市･札幌市
２級	蘭島川	餅屋沢川	小樽市
２級	古平冷水川	古平川	古平町
２級	余市川	余市中の川	余市町･仁木町
２級	余市川	後志種川	仁木町
２級	余市川	ﾌﾚﾄｲ川	仁木町
２級	堀株川	発足川	共和町
２級	堀株川	ﾘﾔﾑﾅｲ川	共和町
２級	堀株川	ｿﾛﾅｲ川	共和町
２級	堀株川	中の川	共和町
２級	堀株川	泥川	共和町
２級	堀株川	辰五郎川	共和町
２級	朱太川	湯の沢川	寿都町
２級	朱太川	五十嵐川	黒松内町
２級	朱太川	小山内川	黒松内町
２級	朱太川	中の川	黒松内町
２級	朱太川	添別川	黒松内町
２級	朱太川	熱郛川	黒松内町
２級	朱太川	後志来馬川	黒松内町
２級	折川	小川	島牧村

北海道

概ね５年で実施する取組
～大規模水害に備えた迅速かつ確実な避難行動のための取組み

■情報伝達、避難計画等に関する事項

○各機関の役割を明確にしたタイムラインの作成
【平成３２年度：後志総合振興局、小樽開発建設部、札幌管区気象台、12市町村、警察、消防】
○タイムラインを活用した、関係機関との連携による訓練の実施
【平成３０年度から実施：後志総合振興局、小樽開発建設部、札幌管区気象台、12市町村、警察、消防】

【タイムラインの意義（想定外へのサポート）】

1．タイムラインの想定シナリオは、最も典型的な災害の進行ストーリー

2．典型的な災害シナリオでタイムラインを作成しておくことで、あらかじめ想定しておいた事象に対しては、タイムラインに沿った対応を基本とすることで、対応の検討に要する人員を適切に配置し、効率的な対応が可能となる。

3．上記２より、想定していなかった事象が起きた場合でも効果的・効率的な対応が可能となる。

⬇

災害発生時の「想定外」のいろいろな事象に対する適切な対応を可能とするところにタイムラインの意義がある。

4．タイムラインを作成し、その通り対応すれば、防災対応が万全というわけではない。「想定外」にいかに対応・応用していくのかによって、防災対応の成否が左右される。

⬇

それをサポートする仕組みがタイムライン
【限られた人的資源を「想定外」に備える！！】

【行うこと】

1．災害応急対策の責任を有する市町村長への支援強化

2．迅速かつ効果的に防災対応を行う

3．タイムラインに取り組む際の条件

① 最悪の状況を含めて災害時に何が起こりうるかのリスク評価の実施

② リスク評価の社会的共有、少なくとも防災関係機関で共有

③ リスク評価に基づく災害対応事項の役割分担の明確化と時系列的な準備

北海道

概ね５年で実施する取組
～大規模水害に備えた迅速かつ確実な避難行動のための取組み

■情報伝達、避難計画等に関する事項

【スケジュール】

①素案の市町村説明
平成30年夏の出水期(7月末)までに市町村への説明を行い、了解が得られたものから運用を開始する。

⬇

課題の抽出
例）・現行の管理水位では、避難時間が確保できない。
・水防警報等の頻度が多すぎる。
・地域防災計画が整理されていない。　等

②課題の検討
例）・管理水位の見直しは可能か？
・要配慮者利用施設はどこか？
・○○○○○○．．．．．．等

⬇

③修正案の市町村説明
修正した修正案について、市町村説明を行う。
・新たな課題の抽出された場合は再度検討を行い、了解された河川は運用を開始する。

⬇

④タイムラインの周知
作成したタイムラインの周知を図る。
・地域防災計画への記載等、市町村の防災計画に位置づけるとともに、地域住民等への周知を図る。
・減災対策協議会等を活用して、防災関係機関の連携を図る。
・新たな課題が抽出された場合は再度検討を行う。

了　解

運用開始

了　解

新たな課題の再検討

新たな課題の再検討

周　知

本　格　運　用　（平成３３年度から）

概ね５年で実施する取組
～大規模水害に備えた迅速かつ確実な避難行動のための取組み

■情報伝達、避難計画等に関する事項
【タイムラインの構成内容】

① 災害が発生することを前提として
　災害時は、気象や河川の状況に応じて防災関係機関が連携しつつ各自の責任を全うする必要があるため、タイムラインの策定にあたっては、事前に災害が発生する状況を想定し、「いつ」「誰が」「何をするか」を防災関係機関間で検討する。

②「いつ」
　タイムラインには、台風の上陸時点のみならず、堤防からの越水や堤防決壊等の災害発生のトリガーとなる発生時点をゼロ・アワーとして定め、ゼロ・アワーから時間を遡り、個々の防災行動を行うタイミングと気象警報の発表時や特定の水位情報等の防災情報の推移と対照し整理する。

③「誰が」
　タイムラインには、防災行動の実施主体を記載する。
　なお、複数の実施主体が対応する場合には、中心となる実施主体を定めておくことも、迅速で効果的な防災行動につながる。

④「何をするか」
　タイムラインでは、既存の防災計画等と整合性を踏まえ、それらに定められている防災行動を対象とすることを基本とする。その上で、さらに必要となる防災行動は、タイムラインの対象として追加する。

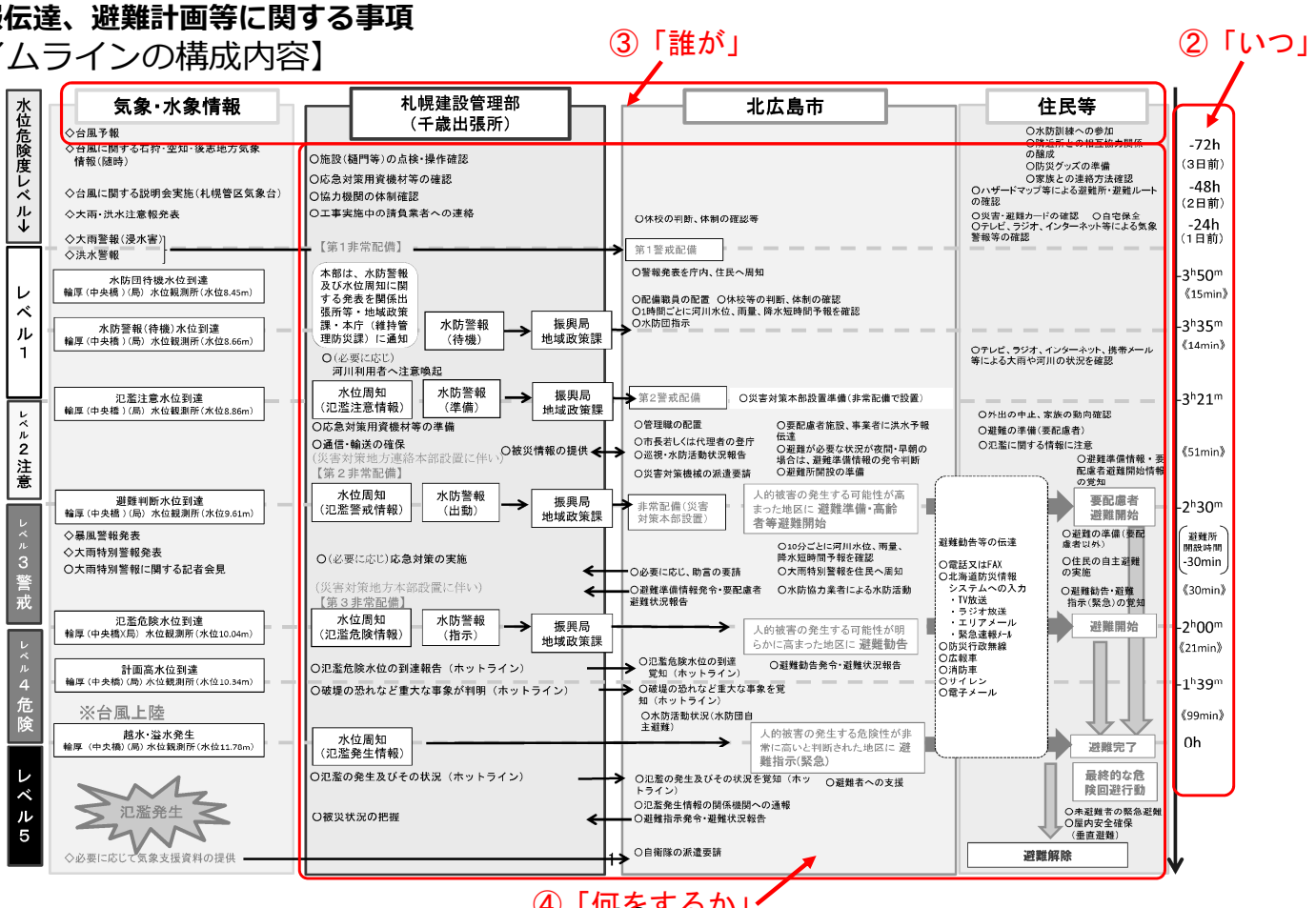
作成、運用する水害対応タイムライン

・避難勧告着目型タイムライン
　市町村長による避難勧告等の発令に着目し、河川管理者と市町村等が協力して作成するタイムライン

北海道

概ね５年で実施する取組
～大規模水害に備えた迅速かつ確実な避難行動のための取組み

■情報伝達、避難計画等に関する事項
【タイムラインの構成内容】



概ね５年で実施する取組
～大規模水害に備えた迅速かつ確実な避難行動のための取組み

■タイムライン作成を要する市町村は、道管理河川のうち、水位周知河川が流れている12市町村。（札幌市を含めると13市町村）

タイムライン　協議対象河川名・観測所名・市町村名

番号	建　設 管理部	水系名	河川名	観測所名	市町村名
1	小樽	尻別川	尻別川	喜茂別下流	喜茂別町
2	小樽	尻別川	尻別川	尻別川三崎	喜茂別町
3	小樽	尻別川	尻別川	尻別川三崎	京極町
4	小樽	尻別川	尻別川	尻別川三崎	倶知安町
5	小樽	尻別川	尻別川	倶知安	京極町
6	小樽	尻別川	倶登山川	倶登山川	倶知安町
7	小樽	尻別川	喜茂別川	喜茂別川	喜茂別町
8	小樽	朱太川	朱太川	朱太川黒松内	黒松内町
9	小樽	朱太川	朱太川	朱太川実橋	黒松内町
10	小樽	朱太川	朱太川	朱太川実橋	寿都町
11	小樽	余市川	余市川	余市川鮎見橋	仁木町
12	小樽	余市川	余市川	余市川鮎見橋	余市町
13	小樽	余市川	余市川	余市川然別	仁木町
14	小樽	余市川	余市川	余市川都	仁木町
15	小樽	余市川	余市川	余市川都	赤井川村
16	小樽	古平川	古平川	古平川	古平町
17	小樽	美国川	美国川	美国川	積丹町
18	小樽	星置川	星置川	星置川	小樽市
19	小樽	星置川	星置川	星置川	札幌市
20	小樽	堀株川	堀株川	堀株川共和	共和町
21	小樽	堀株川	堀株川	堀株川小沢	共和町

平成 30 年度「北海道地区水防技術講習会」実施要領（案）

1 概要

目的

水防技術講習会は、近年の全国的な水害の多発に鑑み、出水時における水防活動が円滑に実施されるよう、水防団員の水防技術の向上及び伝承を図るため、特に技術面に主眼をおいた講習会を実施し、水防の技術的なリーダーを組織的に育成することを目的とする。

講習実施日時

平成 30 年 7 月 19 日（木）　9：00～16：00（予定）

講習実施場所

屋内会場：山村開発センター　集会室　（住所　磯谷郡蘭越町 258 番地　電話：0136-57-5286

現地会場：河畔公園山村広場（尻別川左岸 KP22.0 付近）

主　催

北海道開発局、北海道

後　援

北海道市長会、北海道町村会

協　賛

（一財）日本気象協会北海道支社

講習参加機関

小樽市、島牧村、寿都町、黒松内町、蘭越町、ニセコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、倶知安町、共和町、岩内町、泊村、神恵内村、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村、小樽市消防本部、羊蹄山ろく消防組合、岩内・寿都地方消防組合、北後志消防組合、災害時協定業者

講習対象者

・心身ともに健全な者で水防のリーダーとしてふさわしい水防団員で水防管理団体の長が推薦する者

・北海道開発局、北海道、市町村の水防担当職員で所属長が推薦する者

講習終了後に、講習修了者に対して北海道開発局長名の講習修了証書と腕章等を交付する。

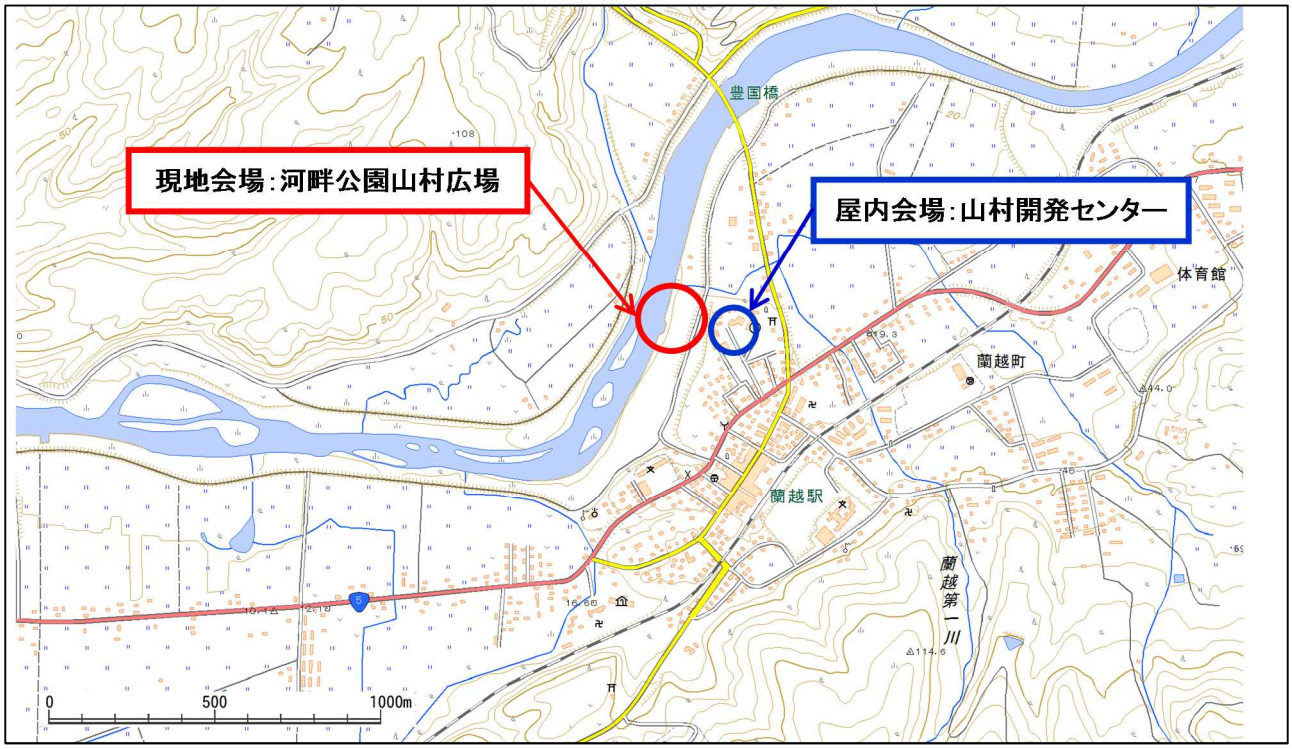
荒天時の対応について

・講習会当日に荒天により現地会場（屋外）での水防工法実習が困難と判断された場合は、屋内会場に変更して実施する。

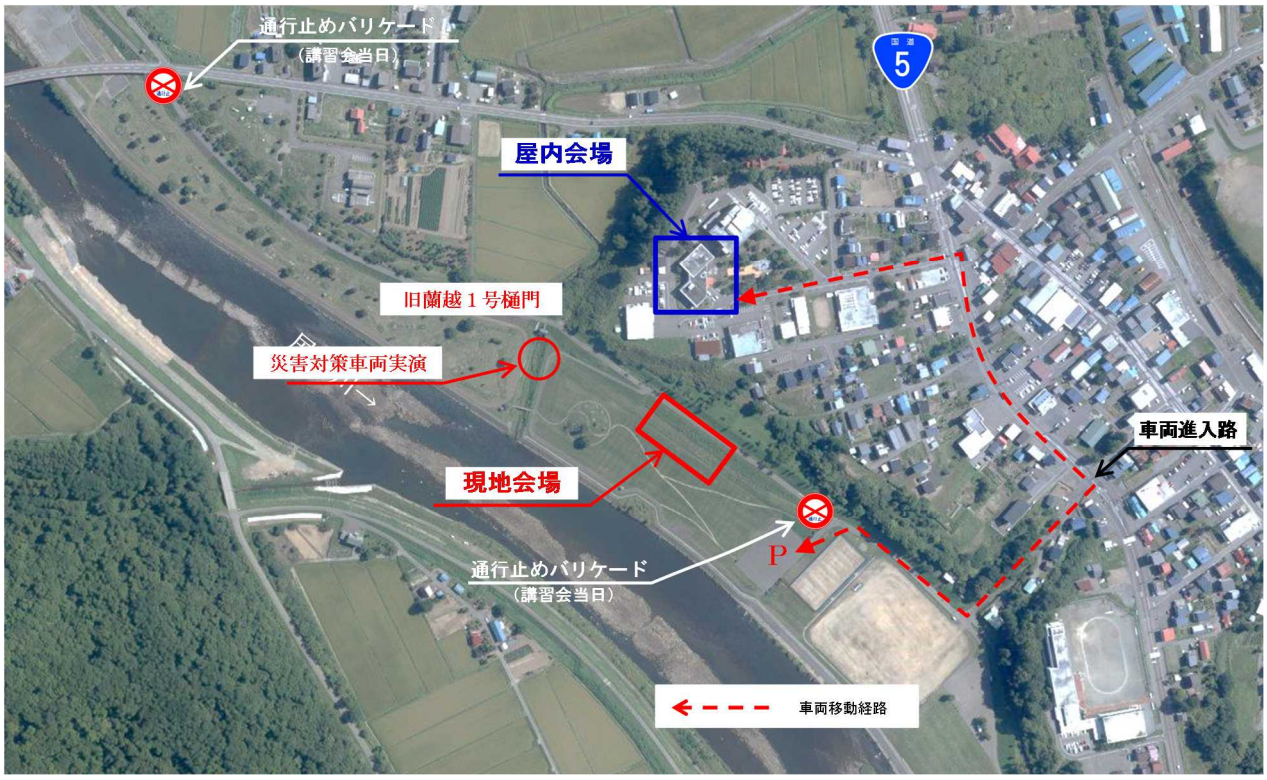
・災害の発生、または発生の恐れがあることにより防災対策の体制が配備された時は、水防技術講習会の実施について検討し、中止の場合は、主催者から参加機関に連絡する。

２ 会場位置図・写真

位置図



会場全体図



【参考写真】平成２９年　北海道地区水防技術講習会　（河東郡音更町）

屋内講習（座学）

水防工法の概要（なわ結び実習）

土のう作り

災害対策車輌展示説明

木流し工

シート張り工

積土のう工（杭省略型）

修了証書授与

３ 受講生・関係者名簿

想定人数

	機関名		想定人数	内、実技講習参加数	備考
受講生	小樽市	（防災担当）	1	1	各市町村より1名
	島牧村		1	1	
	寿都町		1	1	
	黒松内町		1	1	
	蘭越町		1	1	
	ニセコ町		1	1	
	真狩村		1	1	
	留寿都村		1	1	
	喜茂別町		1	1	
	京極町		1	1	
	倶知安町		1	1	
	共和町		1	1	
	岩内町		1	1	
	泊村		1	1	
	神恵内村		1	1	
	積丹町		1	1	
	古平町		1	1	
	仁木町		1	1	
	余市町		1	1	
	赤井川村		1	1	
	小樽市消防本部	消防署・消防団	2	2	各消防署・支署より職員１名、消防団１名
	羊蹄山ろく消防組合	倶知安消防署・消防団	2	2	
		消防署蘭越支署・消防団	2	2	
		消防署ニセコ支署・消防団	2	2	
		消防署真狩支署・消防団	2	2	
		消防署留寿都支署・消防団	2	2	
		喜茂別支署・消防団	2	2	
		消防署京極支署・消防団	2	2	
	岩内・寿都地方消防組合	岩内消防署・消防団	2	2	
		消防署寿都支署・消防団	2	2	
		消防署島牧支署・消防団	2	2	
		消防署黒松内支署・消防団	2	2	
		消防署共和支署・消防団	2	2	
		消防署泊支署・消防団	2	2	
		消防署神恵内支署・消防団	2	2	
	北後志消防組合	余市消防署・消防団	2	2	
		古平支署・消防団	2	2	
		積丹支署・消防団	2	2	
		仁木支署・消防団	2	2	
		赤井川支署・消防団	2	2	
	災害時協定業者		4	4	4社、各1名で算出
小計			64	64	
スタッフ	講師		3	－	気象協会、水防専門家、北海道総務部危機対策局
	北海道		6	－	北海道庁2、後志総合振興局2、小樽建設管理部2名
	開発局本局		3	－	
	小樽開発建設部		12	－	本部3名、倶知安開発事務所5名、次期開催開建4名
小計			24	0	
合計人数			88	64	